

第 14 回入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和 3 年 1 0 月 8 日（金）本部 1 号館第 2 会議室	
委員	委員長 加藤 倫子（弁護士） 委員 小川 隆文（不動産鑑定士） 委員 山田 順（公認会計士） 委員 角間 洋二郎（東海国立大学機構監事）	
審議対象期間	令和 2 年 7 月 1 日 ～ 令和 3 年 6 月 3 0 日	
抽出案件（合計）	28 件	（備考）
工事（小計）	18 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 <抽出案件> 名古屋大学 10 件 静岡大学 2 件 浜松医科大学 3 件 三重大学 3 件 岐阜大学 3 件 豊橋技術科学大学 2 件 愛知教育大学 3 件 名古屋工業大学 2 件 合計 28 件
一般競争入札（政府調達に関する協定対象工事）	2 件	
一般競争入札（上記を除く）	15 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	10 件	
公募型フールド方式	1 件	
簡易公募型フールド方式	0 件	
簡易公募型フールド方式（拡大）	6 件	
標準型フールド方式	0 件	
一般競争入札	2 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙のとおり	

別紙

議事の進行及び委員からの質問	回 答
<p>1. 工事及び設計・コンサルティング業務の審議対象案件の抽出結果について</p>	<p>(担当委員、庶務担当事務より説明) 今年度の審議対象案件の抽出については、建設工事及び設計コンサルティング一覧表から、金額上位 50%及び総案件数に応じて算出した件数毎に抽出した案件に加え、担当委員が審査すべきと判断した案件を指定案件とした旨を説明した。</p>
<p>2. 各大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p>	<p>審議対象案件の抽出と併せて担当委員、庶務担当事務より説明した。</p>
<p>3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続について</p> <p>・前年度からの改正点があれば説明いただきたい。</p>	<p>施設統括部より、文部科学省文教施設企画部作成「公共工事 入札・契約制度のあらまし」に沿って概要を説明。 ・政府調達協定の対象工事の基準額については、令和2・3年度は6.9億円以上である。 ・設計業務委託における公募型プロポーザル適用の基準額については、令和2・3年度は6,900万円以上である。</p>
<p>4. 指名停止等の措置状況について</p>	<p>名古屋大学のみ該当あり。 ただし、文部科学省から指名停止措置等の連絡を受けて学内規程に基づき指名停止を行ったものであり、名古屋大学との取引が原因となった事例はなかった。</p>
<p>5. 再苦情処理会議への申立状況について</p>	<p>資料5に基づき再苦情処理については申立がなかった旨の報告を行った。</p>
<p>6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（名古屋大学）</p> <p>【指定案件】 (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）</p> <p>【(鶴舞)ライフ・イノベーション先端研究教育拠点施設Ⅱ(動物実験施設)改修その他工事】</p> <p>・特になし</p> <p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【(東山)基幹・環境整備(特高受変電設備)工事</p>	

・入札者が一者なのはなぜか。また、落札率が高いのはなぜか。

・入札参加者を増やす方法をとっているのか。

・こういうケースは他にもあるのか。

【(東山)国際開発校舎外壁改修工事

・排除の理由は、入札の条件で求めた実績に対し、不十分であったからか。

・近年落札率が低い傾向があるのは、積算方法が時代に合わなくなっていないか。

・外壁改修工事の工法が変わってきて、仮設工事（仮囲い、足場）が不要になる等の変化により工費が安価ですむようになってきたと聞いたが、落札価格が低いのはそのことと関係があるのか。

・「病院等」と建物の種類の条件を絞り入札公告を出している理由はなぜか。

(2) 設計・コンサルティング業務 公募型プロポーザル方式

【(東山)プラットフォーム新営その他設計業務

・技術提案書評価表で受注者の点数が高いのはなぜか。

・見積回数が非常に多いのはなぜか。

・予定価格と見積額の差が大きいのは、文科省の設計基準を採用した結果なのか。

【審議案件】

(1) 工事

一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）

【(東山)国際開発校舎他便所改修工事】

・変電設備の改修を行うにあたり既存システムの一部を改修する場合は扱える者が限られるため。

・指定する規模、等級や地域要件等を勘案した上で間口を広げるような方策は取っているが、今回は参加者を増やすことが困難であった。

・全面改修ならば他のメーカーが入れるが、部分改修となると一者になる場合はある。

・3階建ての屋上に構造物があるのを合わせて4階として応募されたが、条件に合わなかった。

・予定価格の積算にあたり一般的な積算資料を参考としている。これ以上査定を厳しくすることは難しいところである。

・本件の場合は仮設工事が不用となる工法とは無関係である。

・本件校舎は使用しながら工事するため、同様に使用しながら工事を行った実績を重視し、建物種類を設定した。

・課題についての提案評価の配点が高く、提案内容が優れていた。

・予定価格金額は決まっており、応札者が辞退しない限り続いたため。

・半地下で一般的にはない建物ではあるが、国土交通省や文部科学省が定めた基準を採用して積算している。

<ul style="list-style-type: none"> ・3者中1者が、当初から辞退となっているのはなぜか。 ・当初の入札金額と落札金額の差がある理由はなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加資格等を満たしているかを審査して「参加資格有」を電子入札システム上で通知したところ、入札日の前に「辞退届」という機能で通知があった。 ・本件は不落随意契約の協議を行うなかで、入札内訳書の差の原因を確認し、最終的には予定価格を下回ることとなった。
<p>【(東山)基幹・環境整備(給水設備等Ⅱ期)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札者が一者なのはなぜか。 ・落札率が高い理由はなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した配管等を敷設替えする工事が全国的に行われているため、応札者が限られる。 ・入札が不落となり協議をした結果、落札率が高くなった。
<p>【(鶴舞)中央診療棟 A 多用途型トリアージスペース改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>【(東山)文学部本館等空調設備改修電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社の見積金額が随分違うのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の方では一般的な積算資料に基づいて積算していたが、応札者の事情だと思われる。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 一般競争入札方式</p>	
<p>【(鶴舞)ライフ・イノベーション先端研究教育拠点施設改修設備設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>【(東山)基幹・環境整備(給水設備等Ⅱ期)土壌調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査範囲が非常に広い理由はなぜか。 ・ここ数年の傾向だが、入札者数が減少し落札率が高くなっているのは人手の問題なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土工事が一定の規模を超える場合、法令により配管場所全てを土壌汚染調査するよう義務付けられている。 ・現場の管理技術者等、人手が少なくなっている。
<p>7-1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (静岡大学)</p>	
<p>(1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p>	
<p>【(島田他)基幹・環境整備(換気設備他)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</p>	

<p>【(大谷)総合研究棟(地域創造学系)改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書の評価について、どの項目において得点差がついたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「業務の実施方針／課題について」の提案部分において得点の差が生じたと思われる。
<p>7-2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(浜松医科大学)</p> <p>【指定案件】 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <p>【講義実習棟改修工事(1期)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価点の差はどこでついているのか。 <p>(1) 工事 随意契約方式</p> <p>【医療廃棄物処理センター返送汚泥ポンプ改修工事(2期)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者が1者なのはなぜか。 <p>(2) 設計・コンサルティング業務 随意契約方式</p> <p>【医学部附属病院トリアージスペース新営設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募が2者あり、金額の差があるが理由はなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工体制の評価点で大きな差がついている。 ・特殊なポンプであり、代理店しか取扱いができないため。 ・設計事務所により人員配置の考え方が異なる。
<p>7-3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(三重大学)</p> <p>【指定案件】</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【(上浜)基幹・環境整備(受変電設備等)1期工事】</p>	

<p>・低入札でも問題ないと判断した理由はどこなのか。</p> <p>・3者とも低入札になっているが、予定価格の積算は適切であったか。</p> <p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（医）看護学科棟6階等空調設備改修工事】</p> <p>・特になし</p> <p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【（上浜）基幹・環境整備（受変電設備）Ⅱ期設計業務】</p> <p>・応募が1者となったのはなぜか。</p> <p>・応募者増加の方法として、応募期間は確保しているか。</p>	<p>・材料の調達、監理技術者、管理体制について納得できる説明を受け、問題ないと判断した。</p> <p>・文科省と国交省で統一基準があり、適正に工事費は算出したが、範囲が広い工事であり、各応札者の工夫があつて資材費等が抑えられたと判断している。</p> <p>・もともと設備の設計業務を専門としている事務所が少ないうえ、設計業務の発注が全国で同時期に行われる場合は応募者が限られる。</p> <p>・周知期間としては28日間を確保している。</p>
<p>7-4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（岐阜大学）</p> <p>【指定案件】 (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（柳戸）基幹・環境整備（ライフライン再生4）排水設備等工事】</p> <p>・4者とも予定価格を超過した理由はなぜか。</p> <p>【審議案件】 (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（柳戸）応用生物科学部校舎（実験棟）4期改修電気設備工事】</p> <p>・予定価格を上回った応札者が多いようであるが、工事費が高騰する原因があるのか。</p> <p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【（柳戸）糖鎖生命コア研究拠点新営設計業務（設備）】</p>	<p>・応札者からメーカーに資材や工事の見積を取った時の見積が高額であったと見受けられる。</p> <p>・工事費が下がりやすい時期に発注できたが、期待した結果にならなかった原因は不明である。</p>

<p>・技術提案書評価表の中で、主任技術者の資格及び経験（機械設備）があれば、同種の類似業務の実績が少なくても評価されるように見受けられるが、そういう理解でよいか。課題についての提案で各社とも点数が同じだが、評価が変わらないのか。</p>	<p>・受注者は、個別の事項でなく、詳細な評価の積み上げによる総合点の比較で決定している。個別評価では点数に差が出ているが、合計したところ同点となった。</p>
<p>7-5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（豊橋技術科学大学）</p> <p>（1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【G棟外壁改修工事】</p> <p>・低入札調査の結果について説明いただきたい。</p> <p>（2）設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【総合研究棟（B棟）改修（2期）設計業務】</p> <p>・大学側と業者の積算金額に大きな差が開いた原因はなぜか。</p>	<p>・複数の大型工事を受注しており、安価に資材等の調達が可能であると説明を受け、妥当と判断した。</p> <p>・発注側は詳細に積算するが、応募者によって人員配置の考え方が異なるため。</p>
<p>7-6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（愛知教育大学）</p> <p>【指定案件】</p> <p>（1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（井ヶ谷）総合研究棟（創造科学系）改修工事】</p> <p>・企業の施工体制について、企業にヒアリングをしているのか。</p> <p>・工事成績はどう評価するのか。</p> <p>【審議案件】</p> <p>（1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【（栗林）附属岡崎中学校普通教室空調設備改修工事】</p> <p>・特になし</p> <p>（2）設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p>	<p>・最低基準価格を上回っていれば、施工体制があると判断している。下回っている場合は資料を求めてヒアリングしている。</p> <p>会社および配置予定技術者の工事实績により評価する。</p>

<p>【（井ヶ谷）実習研究棟（保健体育系）改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書評価表の中で、0点と評価されている項目があっても適切なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注者の評価は合計点で行うこととしており、受注者には国以外から十分な実績があるため、問題がないと判断している。
<p>7-7. 建設工事における抽出案件の審議（名古屋工業大学）</p> <p>（1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【1号館改修機械設備工事】</p> <p>特になし</p> <p>（2）設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【1号館B棟改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次審査は技術者の数等を評価しているのか。 ・見積回数は、最大何回と決めているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者の数、技術力等、予定する技術者の能力を資料提出させ比較し判断している。その後、技術提案書の中身の評価をしている。 ・プロポーザルに関して、見積もり回数の上限は決ま里没有ない。

【監査室からの連絡】

来年度の委員会日程について

- ・本来の開催時期に戻して、8月の最終週（8月29日（月）～9月2日（金））の開催を予定することについて、委員から特に異議なし。